



# 私のひとりごと

## 「暑い夏」

暑い夏である。高知では 41 度にもなったそうだが、41 度ってどんな暑さだろうか……。経験した事のない暑さだけに想像でしかないが、外に出るだけでも命の危険にさらされるほどではないだろうか。熱中症で何人かの方が亡くなったと毎日のように報道されているが他人事ではない。十分注意したいものである。特に我が家は冷房設備が十分に整っておらず、普段はウロウロと歩き回っている猫たちもどうしようもない様子で、少しでも涼しい所があれば“ドタッ”と横になりお休みになっている。その中でも開けっ放しの玄関先が涼しいのをよく知っていて、人が出入りするのもお構いなしで寝そべっている。私も静かに隣に腰を下ろす……。普段なら私が近づくだけで逃げ出す事も多いが、どうやら動く気にもならない様子で、二人？のゆったりとした時間が流れていく。こんな光景は誰が見てもコケイであろうが、家内はもとより子供達でさえ隣に座らなくなった今日、私には幸せを感じる時でもある。忙しく鳴くセミの声が一段とゆったりとした時間を作り出す。そうそう！セミの声で付け加えるが、私はいつも耳鳴りがしてミ〜ンミ〜ンと鳴くセミの声によく似ている。秋になっても「あれ？まだセミ鳴いてるで！」と言ってしまふくらいである。ある人が「それは大変お困りでしよう？」と心を使って頂くがさほど気にならない。何故なら子供の頃の夏休み……。セミの声で目が覚めると、額にうっすらと汗がにじんでいる。窓越しに青い空が広がり、今日もどんな楽しい事があるのかとワクワクしながら目覚めた思い出が、何時も鮮明に甦るからである。今の子供達のように塾や勉強と急かされる事もなく、ひたすら外で遊び回る時代背景があつての思い出かもしれないが、真冬でもそうであるから何ともお目出度い人間である。



さてそんな猛暑の中、東京に行くことになった。業界では有名な先生が行う研修の為である。米原から新幹線に乗り込むと私の指定席に誰かが座っている。「すみません私の指定席ですが」と声を掛けようとしたが……。何と！外国人のカップルである。状況を察してか男性が後ろのシートに移動してくれたが、三列シートの一席が空いていたので「こちらに座られてはいかがですか？」とジェスチャーを交え話かけるが「シートが違いますから」と遠慮された。新幹線に乗るとこんな場面に遭遇する。その度にゴルフの石川遼選手のスピードラーニングで英会話をマスターしようと思うのであるが、その時だけで実行には至っていない。冷房の効いた新幹線で奇妙な汗を掻いてしまった。

やがて品川から山の手線で新宿に着くが、大都会もやっぱり暑かった。ビルの中は涼しいが、その涼しさは地下にある巨大な空調設備で賄われていることを知っていたので「維持管理費にどれ位の費用が掛かるのだろうか？」とケチな事を考えてしまう。また、大阪の甥っ子が私の家に遊びに来ると「空気が違う」と言う。大都会の暑さは何処か違う……。ビルの谷間に流れる暑さに加え、人の生きる熱気に夢や希望や失望といった人間模様までも入り混じり独特の暑さを感じられる。私にはとても馴染めない……。いや、正確に言えばとても耐えられないのである。大都会とは言え大半が地方からの出身者で、故郷を離れ必死で日々戦い続けている人達が多く居るのは紛れもない事実である。故郷に生まれ暮らしている私などは、親から受け継いだ環境や人間付き合いの上にあぐらをかいて生きている。困った事があれば誰かが手を差し伸べ、故郷が守ってくれる……。そんな甘ちゃんな環境に育った私など、とても耐えられる場所ではないと感じるのである。故郷を離れ東京で生きる人に心よりエールを送りたい。

さて、盆休みも終わり今年も後半戦に突入する。高知の 41 度に負けにくいくらい熱い思いで走ろうと……。いやいや、年も年なので水分補給を怠りなくポチポチ歩こうと思う（笑）。

ではまた来月もお会いしましょう。  
今月も最後まで読んでいただき……

あーッがしう  
ございました!!

